2年　学年だより



第１０号
令和８年６月５日
江戸川区立瑞江第三中学校
第２学年

教育実習生の先生からのメッセージ

３週間を共に過ごした教育実習生の先生が、本日をもって実習を終えます。

美術の授業だけでなく、運動会など様々な場面でみなさんの学校生活を支えてくださいました。メッセージをいただいたので紹介します。３週間ありがとうございました！

期末考査に向けて

運動会が終わり、期末考査まで２週間を切りました。２年生になり初めての定期考査。しっかりと対策を立てて勉強してほしいです。みんなは練習を積み重ねれば自身の力を発揮し、記録を更新できるということを運動会で証明してくれました。学年種目のどちらも練習したことで、全クラス記録を更新することができました。ぜひ、この定期考査でも勉強という練習を積み重ねてベストを尽くしてほしいと思います。毎日の自主学習ノートでぜひその成果を見せてくださいね。楽しみにしています。

来週の予定

日	曜	1	2	3	4	5	6	備　考
8	月	学活	②	③	④	⑤	⑥	生徒朝礼、①事前学習3
9	火	道徳	②	③	④	⑤	⑥	①宿泊班決め、工芸体験決め、期末考査1週間前
10	水	①	②	③	④			⑤カット、再登校17時
11	木	①	②	③	④	⑤	⑥	歯科検診
12	金	①	②	③	④	⑤	総合	⑥バス座席決め、避難訓練

※移動教室保護者会で配布しました参加確認書、事前保健調査票の提出は8日（月）〆切です。

運動会作文

運動会をテーマに作文を書きました。先輩として後輩をサポートし、後輩として先輩を支えた運動会。縦のつながりも深まり、良い運動会になったと思います。今回は4組、5組の代表者の作文を紹介します。

「運動会を終えて」　２年４組

中学生になり２回目の運動会。後輩が出来て初めての運動会。涼しげな風と一緒に運動会が始まった。そしてピストルの音と熱気あふれる声援で校庭がいっぱいになった。

「せーの」と色々なクラスからの声が響きわたり、鼓動がはやまった。緊張した空気の中みんなで声をかけ、どんどん跳び１セットが終了した。１セット目は３３回。いつもよりもたくさん跳べたという喜びと追っかけてくる２セット目の緊張とプレッシャー。もう少しで超えられる記録更新。もう一度３３回跳べれば６６回。ドキドキとした２分間。縄のスピードがつかめず、何回かひっかかり、不安と申し訳ない気持ちでいっぱいだった。それでもいつも以上に連続で跳べて、無駄な時間をなくせといつもより良い大縄が出来た。大縄の時間はすぐに終了してしまい、再び鼓動がはやまり結果発表がスタートした。５位、４位、３位まだ呼ばれないという嬉しさと１位になりたいという思いがどんどん多くなる。回数にドキドキしながら２位の発表か始まった。２位で呼ばれず、とっても嬉しい気持ちと４組を誇らしげに思い、とっても幸せでいっぱいな気持ちになった。涼しげな空気からとっても情熱のあふれた爽やかでとっても熱い空気へと変化した。大縄無理かなとあきらめていた部分もあったけど、みんなでたくさん話し合い、たくさんの人から声援やサポートなどのいろいろな力で４組は輝けたと思った。そして「１位、青、４組、８７回」という放送とともに感動の涙と寒気であふれかえった。2-4 松 Legend の１ページ目は最高の大縄でいっぱいに出来たと思う。でも他の競技や他学年の青団もうまくいかず完全青覇には出来なかったけど運動会を通し青春は出来たと思う。そして大縄では練習は全然うまくいかなかったからこその１位はとっても嬉しかったし、青天の霹靂を起こすことができたと思う。

この２回目の運動会では様々なことが学べたと思う。何度もみんなでたくさん話し合いを重ね、１つになって協力して、たくさん練習することが出来たからこそ、これからの行事や日常生活でも生かし、色々と携わってくれた人への感謝の気持ちと大縄の嬉しい気持ちを忘れずに過ごしていきたい。





「５月２３日土曜日」　２年５組

私は極度の負けず嫌いでずる賢いです。運動会の種目決めではたくさん揉めました。私は負けてもそこまで目立たないフォースクリアに出たかったです。障害物には得意なものが多く、足の速い人たちは１００m走に出るため、１位を取れる可能性が高いと思ったからです。

しかしクラスのみんなに「ここは速いから１００m走に出てほしい」と何度も説得され、１００m走に出ることを決めました。でも、みんなの期待に応えられるか不安でした。どうしても負けたくないため運動会までの１か月、朝や夕方に走りに行き、前日は食事や睡眠にも気を付けました。

本番の結果は２位でした。ゴールした瞬間、頭が真っ白になり歓声も音楽もあまり聞こえなくなり、ただ負けたという事実だけが胸に刺さり努力してきたことが全部無駄だったようにかんじました。

けれど召集場所に戻ると、みんなが「でてくれてありがとう」「速かったよ」と声をかけてくれました。私はその時、みんなが期待していたのは、１位を取ることだけではなく、プレッシャーから逃げずに本気で走る私だったのだと気づきました。

私は今回負けても逃げなかった自分を手に入れることができました。これからは、失敗しそうなことでも避けず挑戦したいです。そして私は結果だけで自分の価値が決まるわけではないということを学びました。もちろん悔しさは今でも残っています。でも、悔しさがあったからこそ、本気で努力することの大切さや、仲間の存在のありがたさに気づくことができました。今回の経験を生かし、もっと成長した自分になりたいと思いました。

今回の運動会という経験を得て、縦のつながりの重要さを改めて感じられました。先輩後輩関係なく協力して競技に取り組んだことで学年を越えて仲を深め、全力で応援しあうことができました。これからの学校生活だけでなく、将来の社会生活にも生かしていきたいです。